

2023年度

決算の概要

2024年5月15日



ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

みずほフィナンシャルグループ

〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身近に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリーやウェルビーイングの実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献するとともに、経済だけでなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

今回、東京藝術大学デザイン科の学生の方に、〈みずほ〉のパーパス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。

株主・投資家の皆さま向けの決算資料の表紙にアート作品を掲載するのは、2023年11月を初の試みとし、今回が第三弾です。



作者 **政井 歌**

東京藝術大学 デザイン科 修士2年

私たちが他者とともにお互いに刺激を受け、成長し合うには、ワクワク感を感じるポジティブな環境が必要だと考えます。

ワクワクを分かち合うことで、私たちは新しいアイデアや視点を持つことができ、成長していくことができると思います。

私は期待感と躍動感に満ち、より豊かな人間関係を築くための感情世界を表現しました。



FY23実績

- ✓ ソリューション・投資銀行等のビジネスの進展に加え、市場環境の追い風もあり、顧客・市場部門とも好調に推移
- ✓ 連結業務純益は1兆円へ到達、過去最高益を達成

FY24計画

- ✓ 連結業務純益1兆700億円、親会社株主純利益7,500億円を計画
- ✓ 中計最終年度目標（FY25）である業務純益1-1.1兆円、連結ROE 8.0%の前倒し実現を目指す

株主還元

- ✓ FY23配当実績：直近予想比+5円の105円/株（前年度比+20円）
- ✓ FY24配当予想：4期連続の増配となる115円/株（前年度比+10円）

決算の概要

(億円)	FY23	前年度比	
1 連結粗利益 ^{*1}	① 26,722	+3,920	① 連結粗利益 : 金利収支やソリューション・IB関連収益の拡大等に加え、市場環境の追い風もあり、顧客・市場部門ともに好調に推移有価証券ポートフォリオ健全化も実施
2 経費 ^{*2}	② △ 16,819	△2,083	② 経費 : 円安・インフレ等の環境要因に加え、成長領域やガバナンス等の経営基盤への資源投下により増加
3 連結業務純益 ^{*1}	③ 10,058	+1,986	③ 連結業務純益 : トップラインの好調を受け1兆円に到達顧客部門はカンパニー制導入以降の最高益を更新
4 うち顧客部門	7,914	+477 ^{*4}	④ 与信関係費用 : 概ね年度計画水準（△1,000億円）で着地
5 うち市場部門	1,250	+651 ^{*4}	
6 与信関係費用	④ △ 1,063	△170	⑤ 親会社株主純利益 : 連結業務純益の増益を主因に+22.2%の増益中間期時点の修正見通し6,400億円も超過達成
7 株式等関係損益 ^{*3}	547	△299	⑥ 連結ROE : 利益成長と効率性改善により前年度比+1%ptと良化
8 経常利益	9,140	+1,244	
9 特別損益	409 ^{*5}	+516	
10 親会社株主純利益	⑤ 6,789	+1,234	
(ご参考)			
11 連結ROE ^{*6}	⑥ 7.6%	+1.0%	
12 経費率 (2÷1)	62.9%	△1.6%	

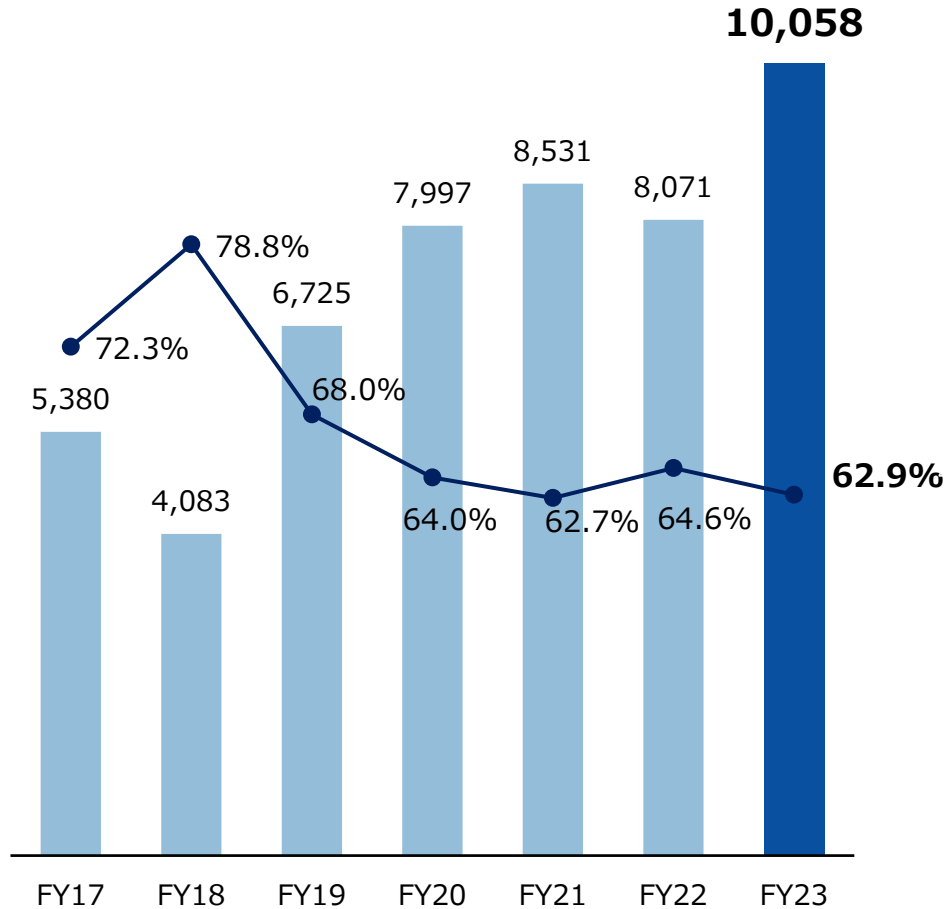
*1: ETF関係損益等△310億円（前年度比△328億円）を含む *2: 臨時処理分等を除く *3: ETF関係損益等を除く *4: 前年度の計数をFY23管理会計ルールに組み替えて算出

*5: 退職給付信託返還益527億円（前年度比+51億円）を含む *6: その他有価証券評価差額金を除く

連結業務純益・経費率

(億円)

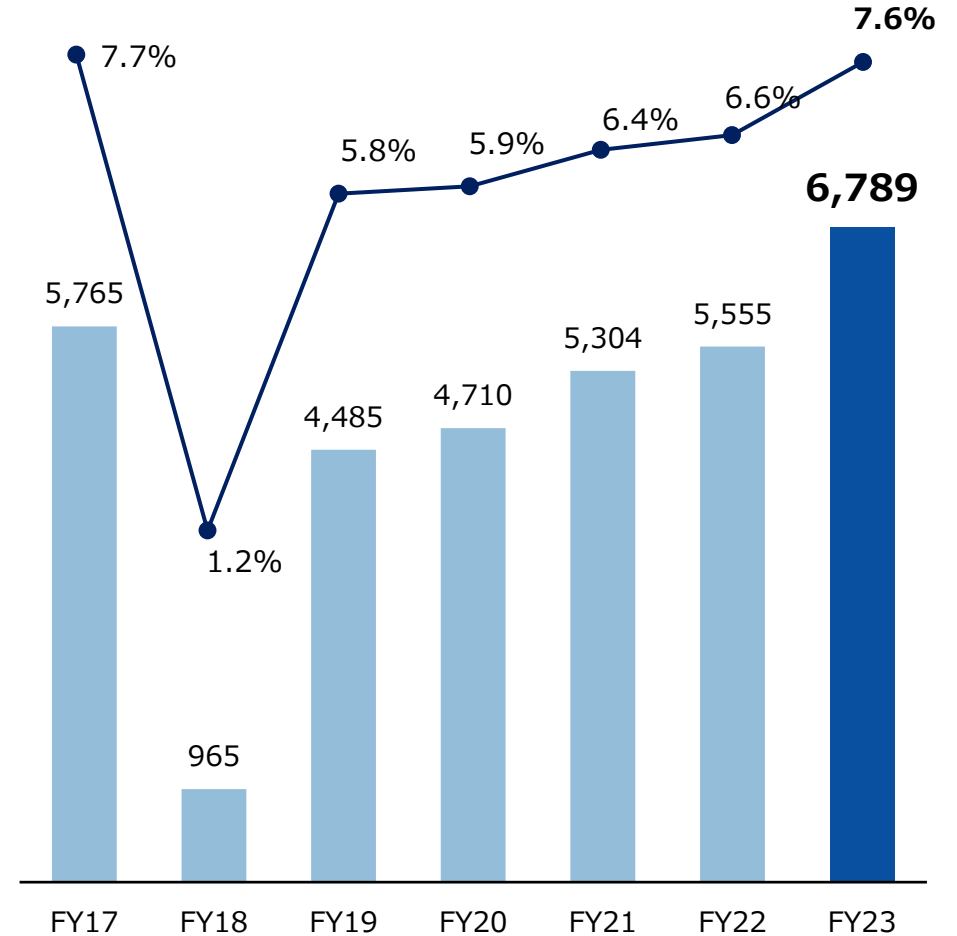
- 経費率
- 連結業務純益*1



親会社株主純利益・連結ROE

(億円)

- 連結ROE*2
- 親会社株主純利益



*1: ETF関係損益等を含む *2: その他有価証券評価差額金を除く

カンパニー別業績

(億円)

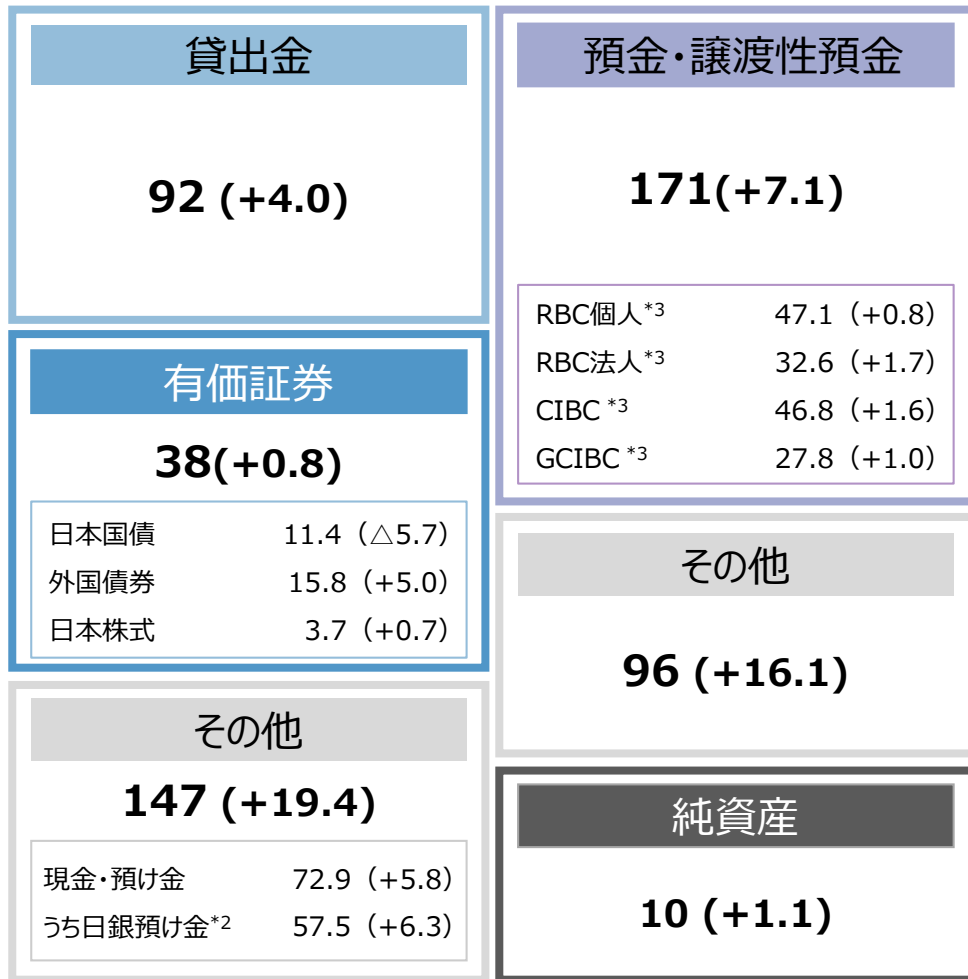
グループ合算、速報値

	業務粗利益		経費		業務純益		当期純利益		ROE*3
	FY23	前年度比*1	FY23	前年度比*1	FY23	前年度比*1	FY23	前年度比*1	FY23
顧客部門	20,330	+1,357	△12,574	△1,053	7,914	+477	5,553	+218	7.3%
RBC	7,492	+426	△6,511	△454	1,050	+247	512	+119	2.7%
CIBC	5,563	+476	△2,178	△157	3,462	+333	2,873	△74	9.2%
GCIBC	6,702	+430	△3,524	△431	3,374	△2	2,235	+275	9.0%
AMC	572	+24	△361	△11	28	△101	△66	△103	-
市場部門 (GMC) *2	4,325	+1,183	△3,074	△540	1,250	+651	828	+480	3.8%
うちバンキング*2	454	+644	△500	△70	△46	+574			
うちセールス & トレーディング	3,871	+538	△2,574	△469	1,296	+76			

*1: 前年度の計数をFY23管理会計ルールに組み替えて算出 *2: 2行合算のETF関係損益を含む *3: カンパニー別ROE : 当期純利益÷内部リスク資本

B/Sの概要*1 (24年3月末)

総資産 278兆円 (+24.4)



うち外貨建て*3

- 貸出金に対する顧客預金の割合：79%
- 顧客預金の内訳：
 - ・国内+海外日系 約50%
 - ・海外非日系 約50%
 (地域別：米州約20%、EMEA約10%、APAC約20%)

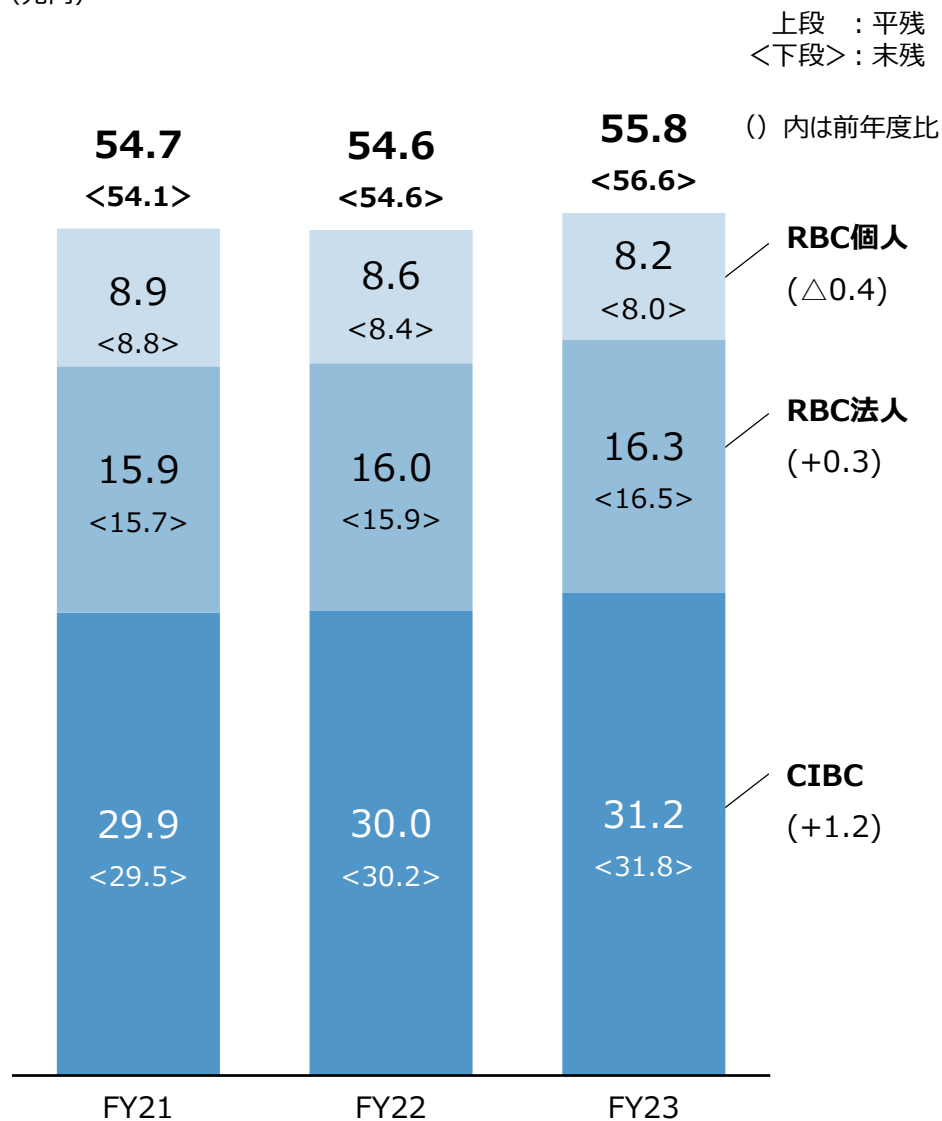
4,983億ドル (+121)



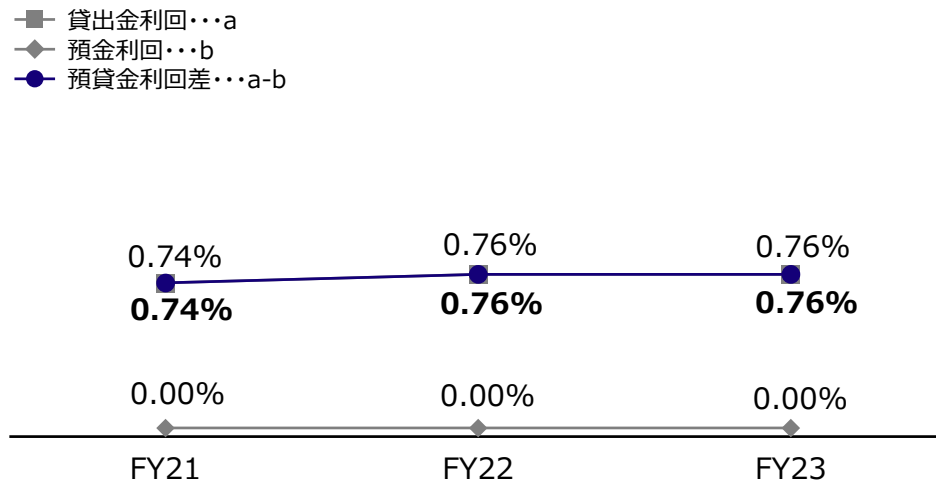
*1: ()は23/3末対比 *2: 2行合算 *3: BK+TB、FY23管理会計ルール *4: 中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人、国内を含む *5: 社債、通貨スワップ等
 *6: レポ、インターバンク、中銀預金等

国内貸出金*1

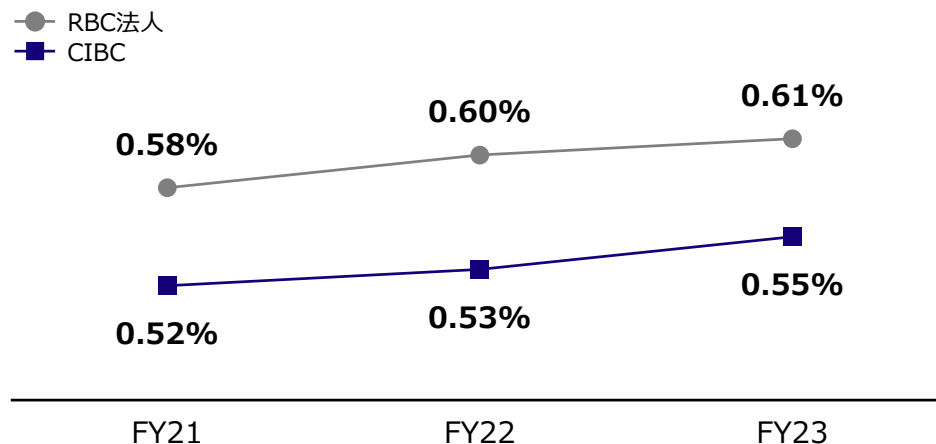
(兆円)



預貸金利回差*2



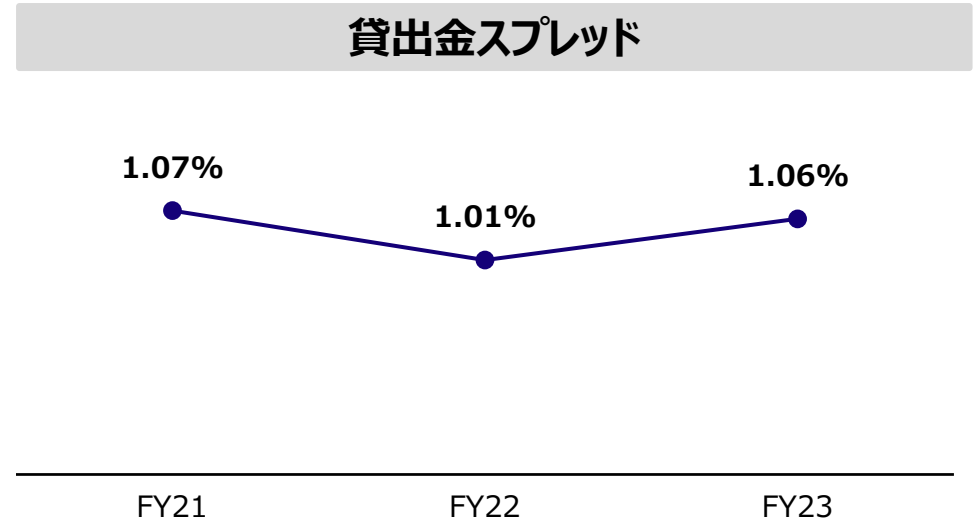
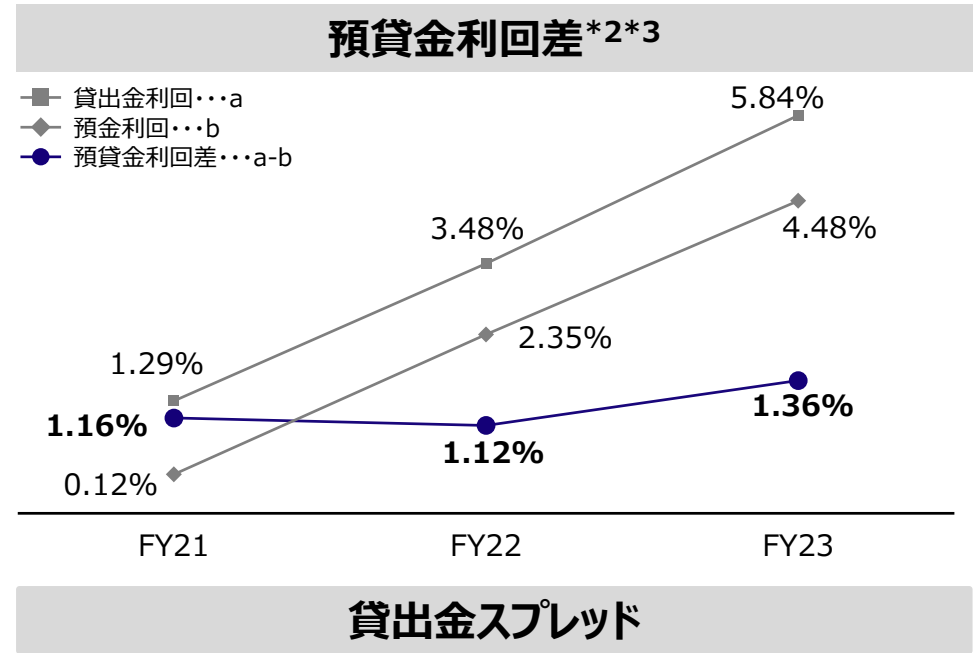
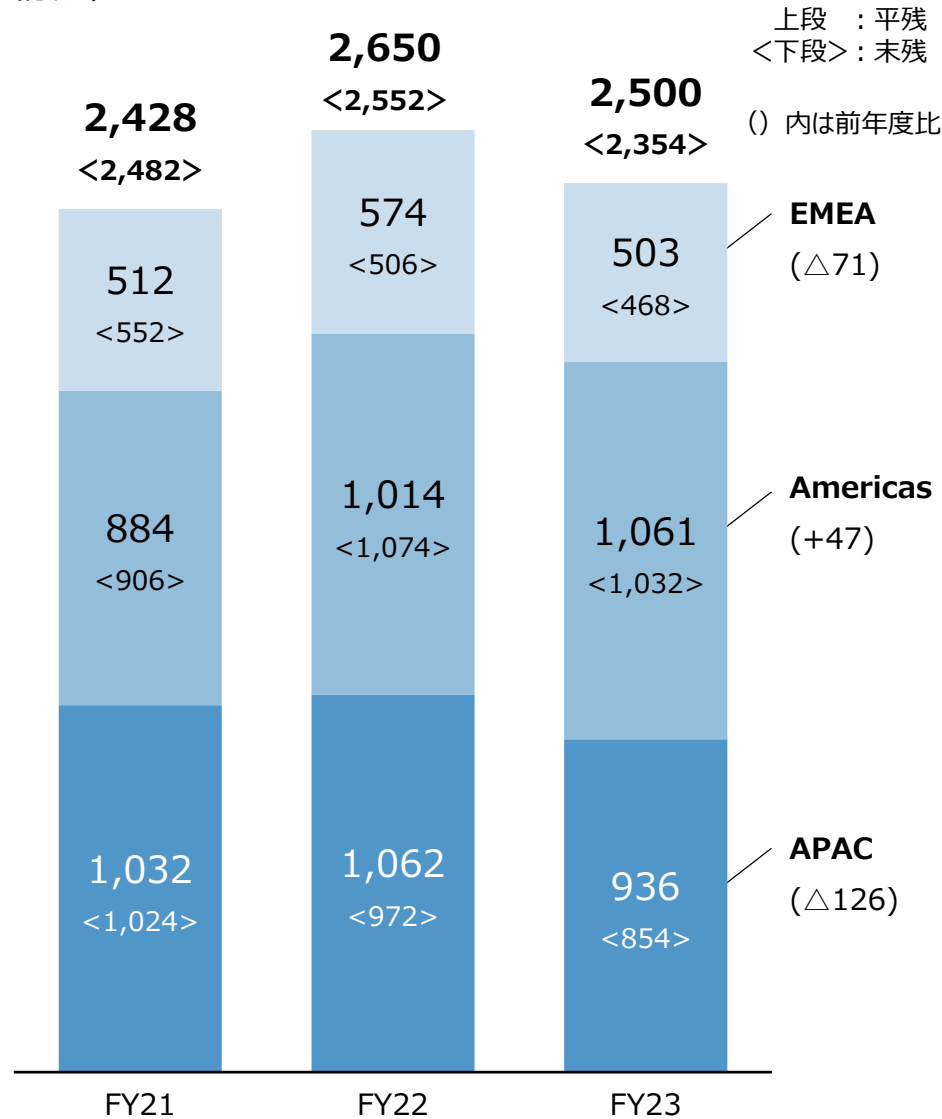
貸出金スプレッド



*1: BK+TB、FY23管理会計ルール（FY21～FY22は遡及修正）、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く *2: 2行合算、金融機関（FGを含む）・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

海外貸出金*1

(億ドル)



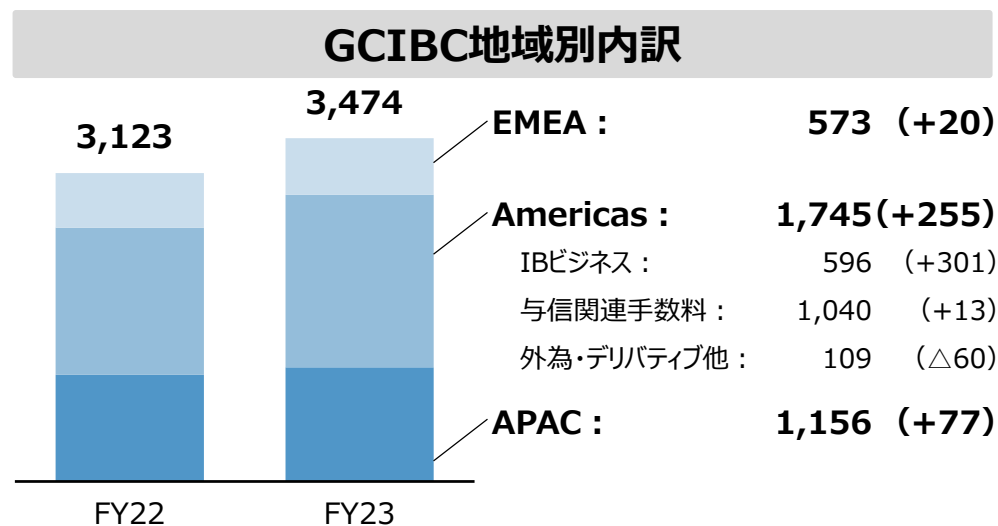
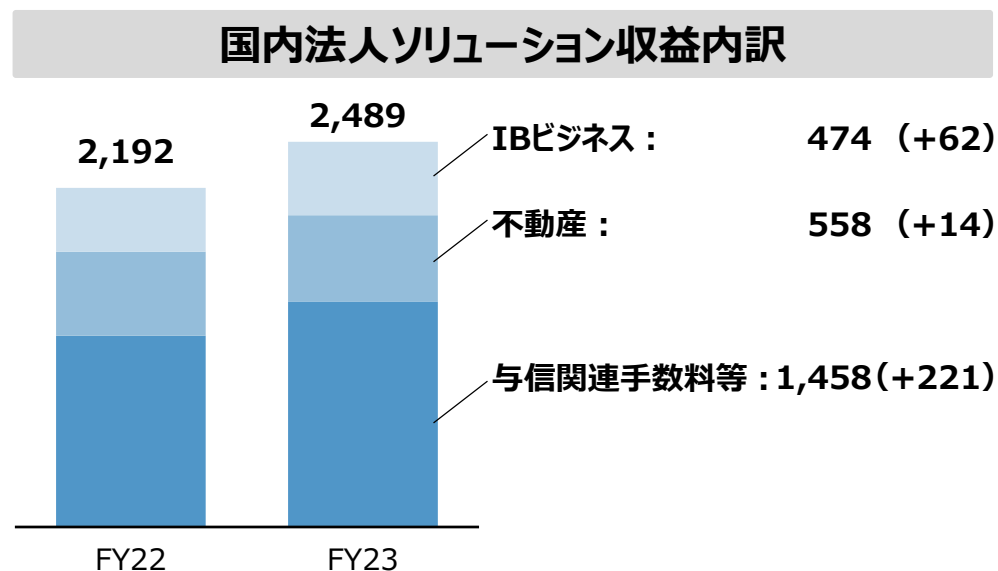
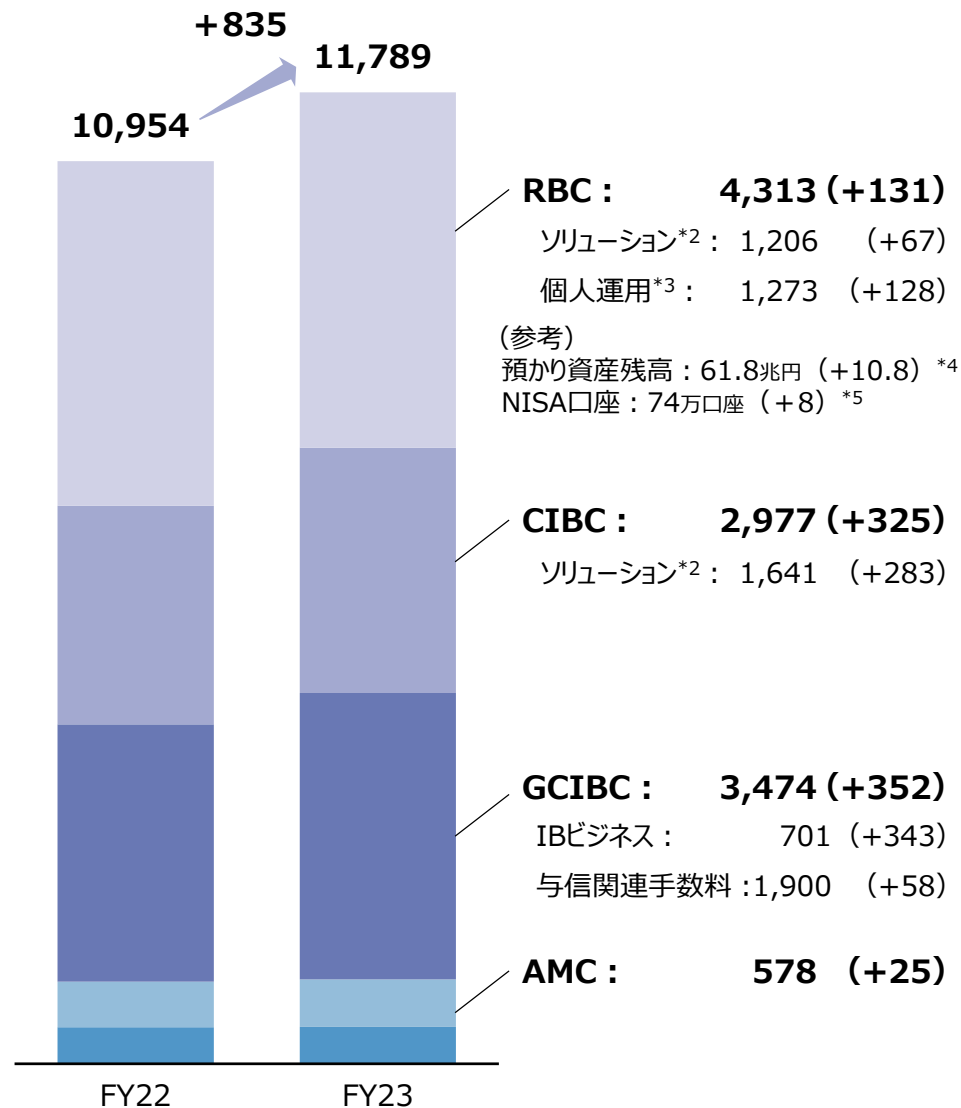
*1: BK (含む中国、米国、オランダ、インドネシア、マレーシア、ロシア、ブラジル、メキシコ現地法人)、FY23管理会計ルール (FY21~22は遡及修正)、グループ内貸出金を除く *2: BK、国際業務部門

*3: 貸出金利回について、FY22中間期以降の計数に一部誤りがありましたので、FY22の貸出金利回及び預貸金利回差を修正して表示しています。尚、四半期毎の貸出金利回の修正後計数 (期初から各四半期末迄の累計) は FY22/2Q: 2.34%、FY22/3Q: 2.98%、FY23/1Q: 5.55%、FY23/2Q: 5.68%、FY23/3Q: 5.77%です。

非金利ビジネス*1

(億円)

() 内は前年度比

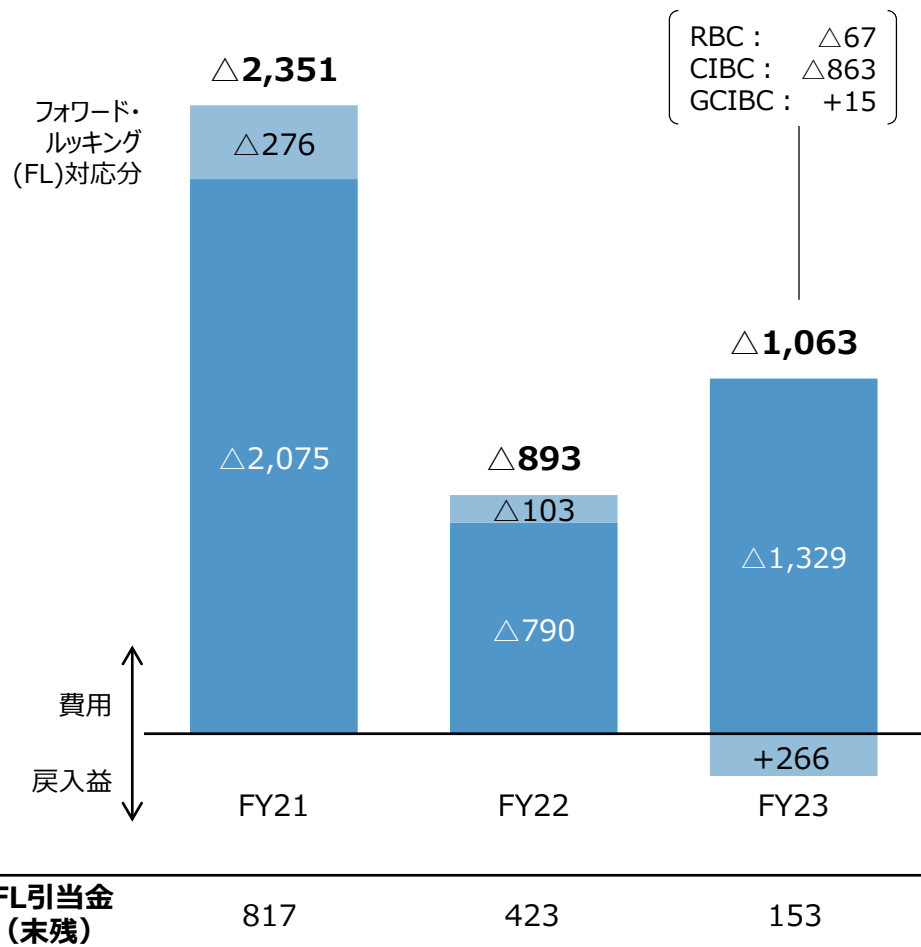


*1: FY23管理会計ルール、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、FY22: 11,134億円 *2: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む *3: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント
 *4: SCリテール事業法人部門と2行合算（保険、投資信託（除くMMF）、外貨預金）の合計 *5: BK+SC

与信関係費用

連結

(億円)

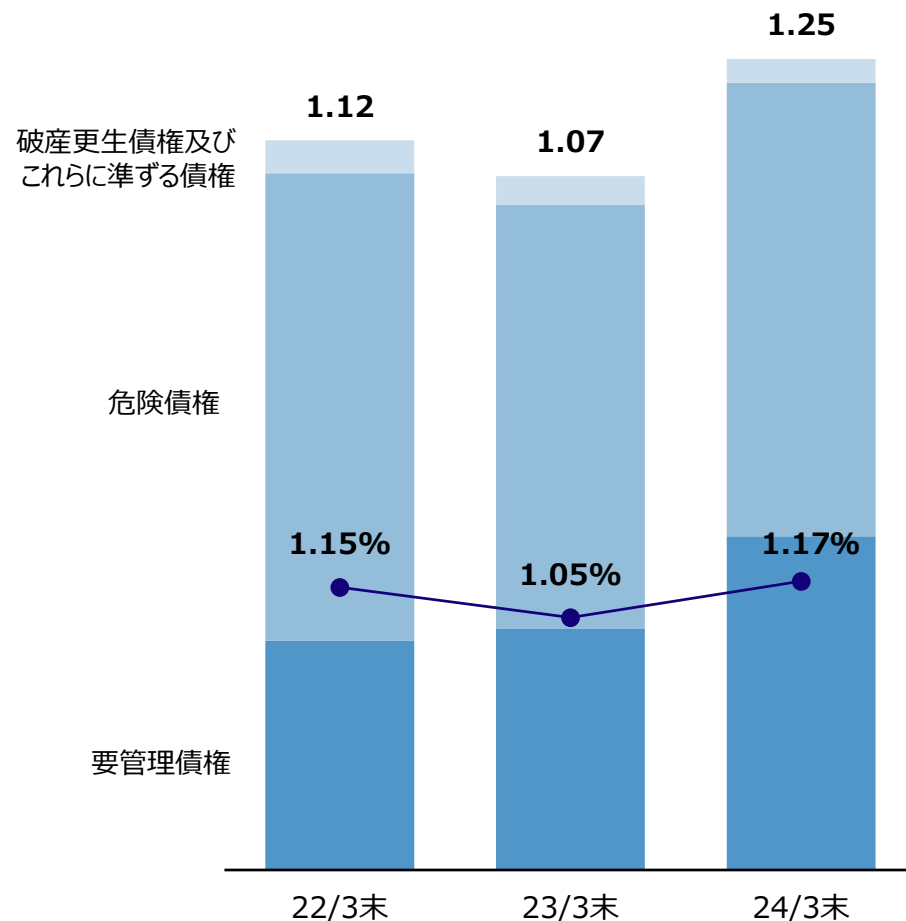


銀行法及び再生法に基づく債権*

連結

(兆円)

● 不良債権比率



* 信託勘定を含む

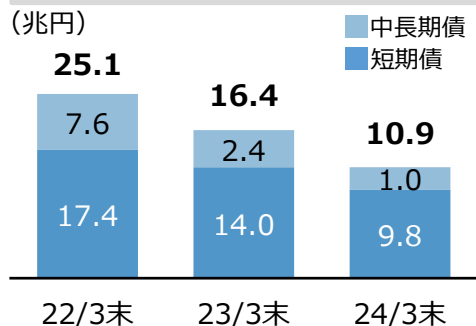
有価証券ポートフォリオ*1

その他有価証券

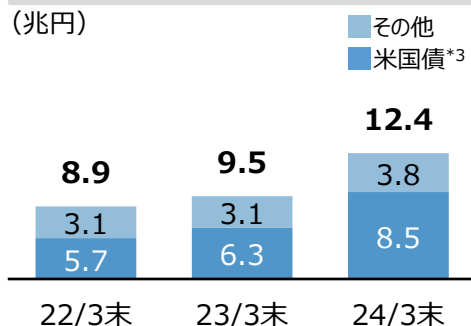
連結

(億円)	取得原価		評価差額*2	
	24/3末	23/3末比	24/3末	23/3末比
1 合計	314,046	△ 22,089	14,554	+6,430
2 株式	9,169	△ 803	21,332	+6,514
3 債券	143,948	△ 59,059	△ 345	+414
4 うち国債	109,681	△ 55,131	2	+466
5 外国債券	130,050	+28,698	△ 4,941	△ 395
6 うち米国債*3	85,730	+22,065	△ 4,609	△ 469
7 その他	30,877	+9,074	△ 1,490	△ 102
8 ベアファンド*4	3,464	△ 828	△ 1,369	△ 1,111
9 投資信託等	27,413	+9,903	△ 120	+1,008

日本国債残高*5



外国債券残高*5

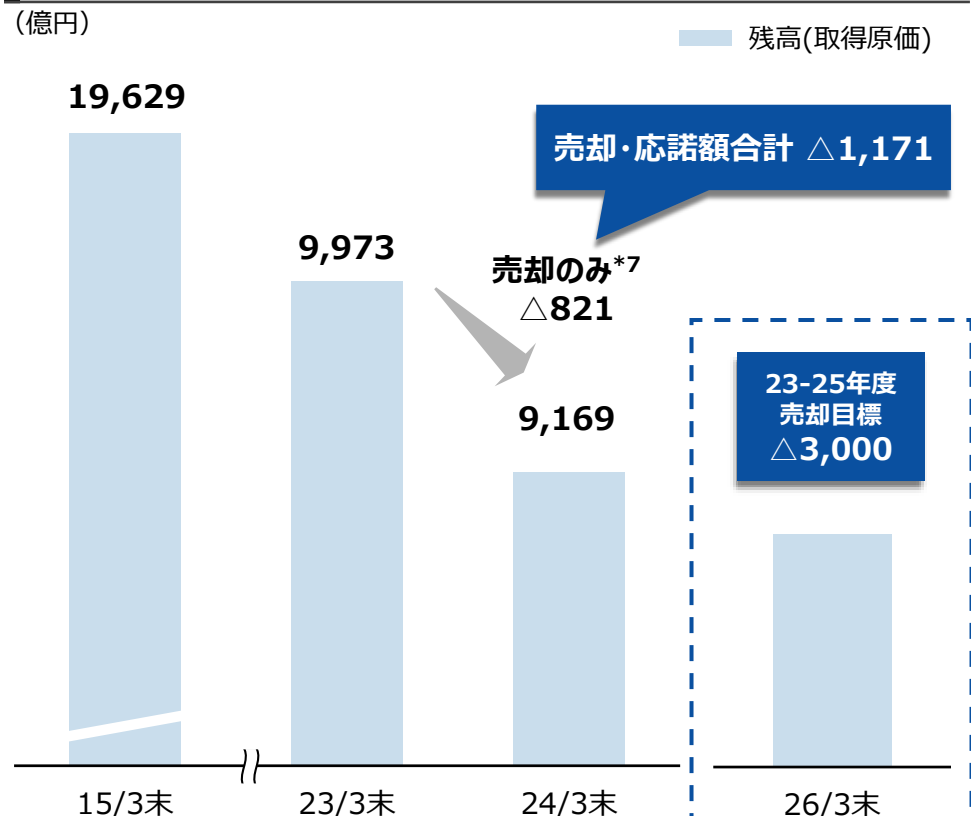


〈参考〉平均残存期間 (年) *6

1.2 0.7 0.3 1.6 1.1 2.4

株式残高

連結



〈参考〉みなし保有株式の売却*8

期間	BK+TB、管理会計
15/3末-23/3末	6,724
23/3末-24/3末	1,939

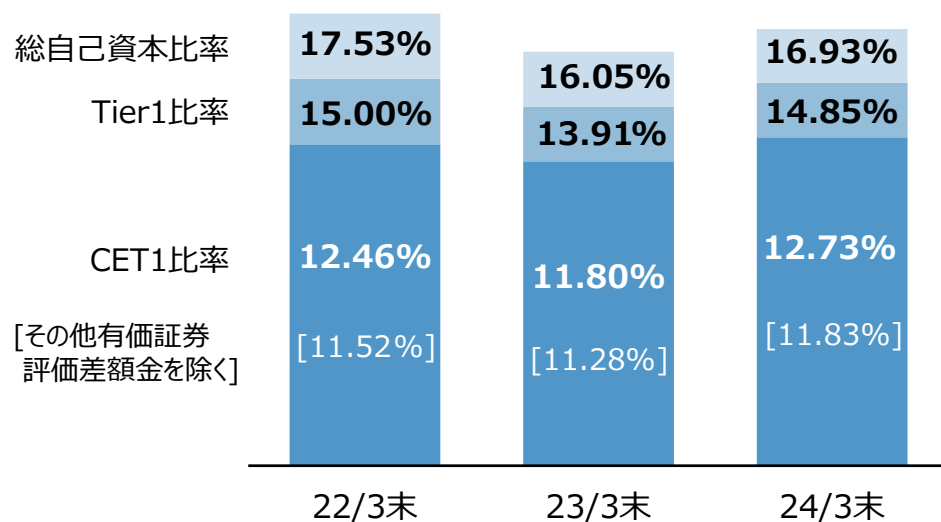
*1: その他有価証券で時価のあるもの、組合出資分を除く *2: 純資産直入処理対象分。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘案 *3: 米国債、GSE債 *4: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引分
*5: 2行合算、取得原価 *6: 内部管理ベース、ヘッジ考慮後 *7: 除く退職給付信託からの返還等+17億円 *8: 一部、BK・TBの資産に計上されている金額を含む、時価

自己資本の状況

自己資本比率

連結

(億円)



	22/3末	23/3末	24/3末
総自己資本	113,516	113,069	123,146
Tier1資本	97,132	98,033	108,018
CET1資本*1	80,672	83,155	92,599
AT1資本*2	16,460	14,878	15,418
Tier2資本	16,383	15,035	15,127
リスクアセット	647,304	704,341	727,202
総エクスポージャー	2,129,720	2,194,411	2,293,768

*1: 普通株式等Tier1資本 *2: その他Tier1資本

その他規制比率

連結

	22/3末	23/3末	24/3末
レバレッジ比率	4.56%	4.46%	4.70%
外部TLAC比率			
リスクアセットベース	24.24%	24.02%	25.35%
総エクスポージャーベース	8.43%	8.85%	9.17%

〈参考〉	22/3末	23/3末	24/3末
CET1比率 (完全実施ベース)	9.9%	9.9%	10.5%
同 (その他有価証券評価差額金を除く)	9.3%	9.5%	9.8%

2024年度計画

収益計画

(億円)

連結	FY23	FY24	
	実績	計画	前年度比
連結業務純益*1	10,058	10,700	+642
与信関係費用	△1,063	△ 1,000	+63
株式等関係損益*2	547	800	+253
経常利益	9,140	10,500	+1,360
親会社株主純利益	6,789	7,500	+711

2行合算

2行合算	FY23	FY24	
	実績	計画	前年度比
実質業務純益*1	6,508	7,200	+692
与信関係費用	△971	△ 950	+21
株式等関係損益*2	382	800	+418
経常利益	5,847	7,150	+1,303
当期純利益	4,016	4,950	+934

【前提となる金融指標】 日本国債10年利回り: 1.20%、日経平均株価: 35,150円、ドル円: 135円

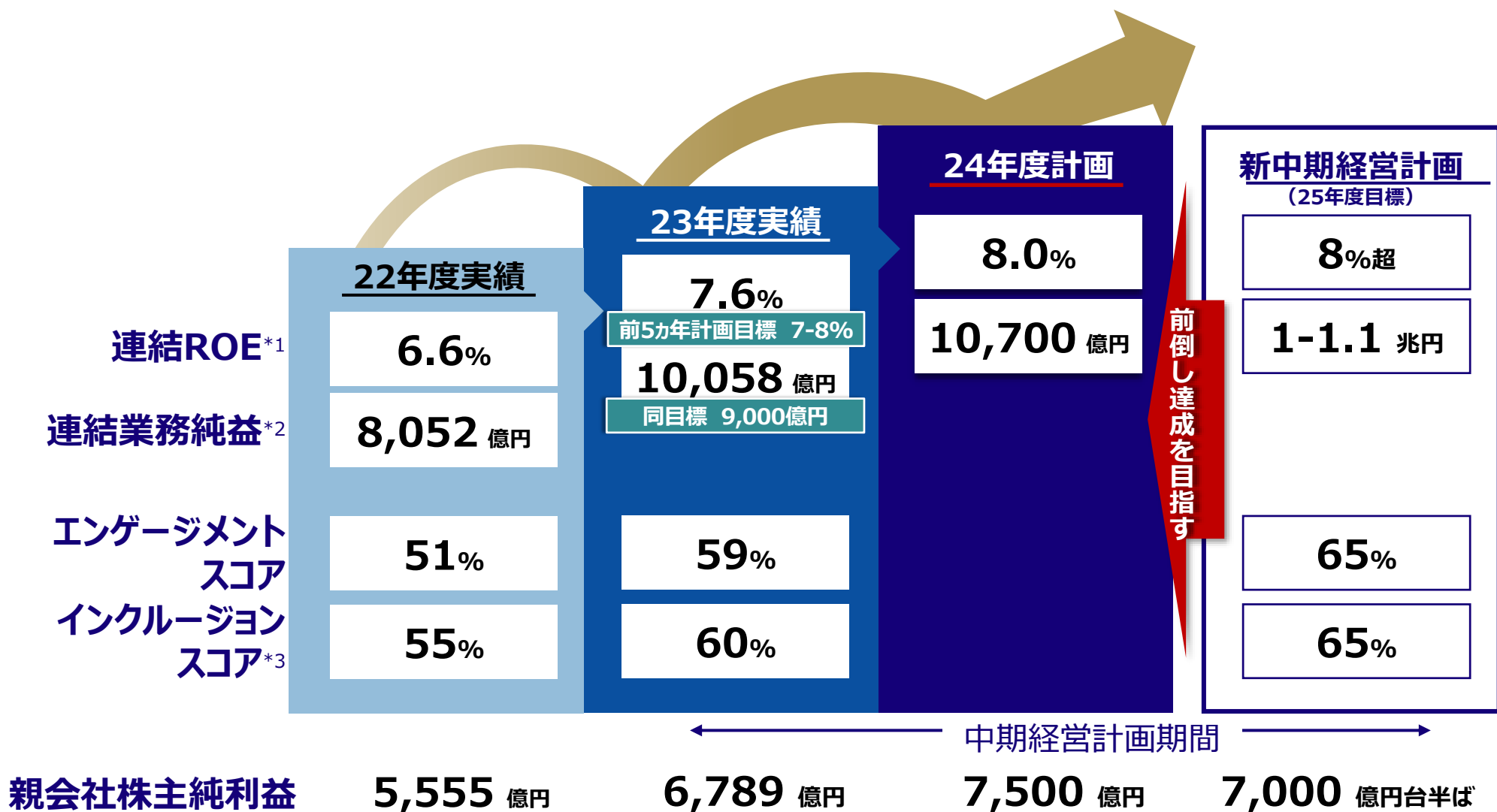
株主還元

一株あたり配当金

一株あたり配当金	FY23	FY24	
	実績	予想	前年度比
中間配当金	50.0円	57.5円	+7.5円
期末配当金	55.0円	57.5円	+2.5円
年間配当金	105.0円	115.0円	+10.0円

*1: ETF関係損益等（連結）、ETF関係損益（2行合算）を含む *2: ETF関係損益等（連結）、ETF関係損益（2行合算）を除く

中期経営計画目標に対する進捗

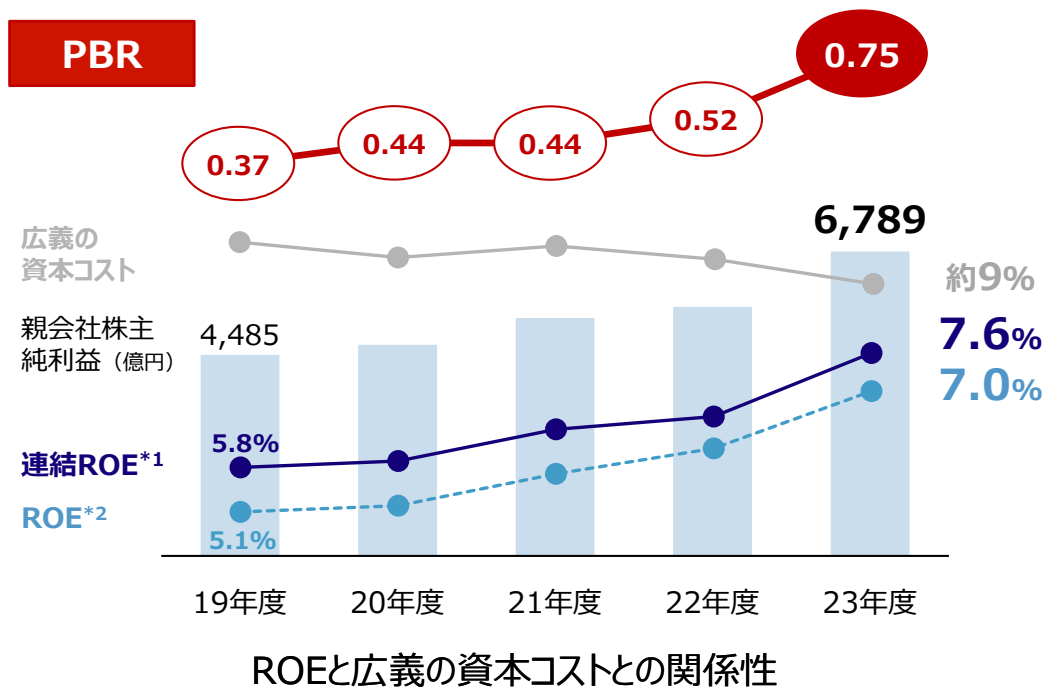


【新中期経営計画の前提となる金融指標】 日本国債10年利回り: 0.95%、日経平均株価: 30,000円、ドル円: 120円 (25年度)

*1: その他有価証券評価差額金を除く *2: ETF関係損益等を含む *3: 社員意識調査におけるエンゲージメント及びインクルージョンに関する各4設問に対する回答の肯定的回答率 (1~5の5段階で4,5を回答した割合)

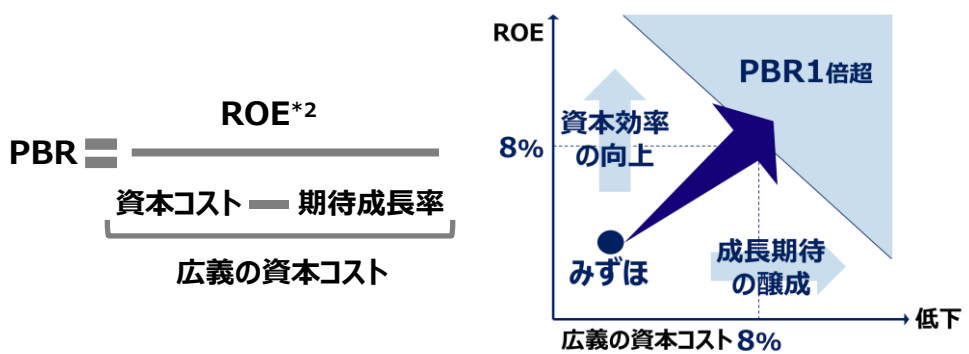
PBR改善に向けた進捗状況①

■ PBRは改善基調も、引き続き資本効率の追求によるROE向上に加え、成長期待の醸成に向けた取組みを強化



PBR改善に向けた当面の取組み

- | | |
|--------------|--|
| 資本効率の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ アセット採算性向上
- 低採算アセットから高採算アセットへの資源シフト ・ 経費率コントロール
- 規律ある経費運営、生産性の向上 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 着実な利益成長の実現
- 持続的な本業収益の成長、非金利収益の拡大 |
| 成長期待の醸成 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な資本活用
- 成長投資、無形資産への投資、株主還元強化 ・ 本業収益の安定化
- 〈みずほ〉の強みとしてCIBビジネスのプライマリー・セカンダリーの相互補完を構築・強化
- 収益多様化、一過性損益の縮減、政策株削減 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務健全性の向上
- CET 1 比率運営の最適化、資本コスト低減 |
| ディスカウント要因の解消 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の経済成長への貢献
(個人金融資産倍増・日本企業の競争力強化)
- 企業理念・パーパスの浸透・実現 ・ 海外の成長取り込み |
| | <p>マクロ要因</p> |

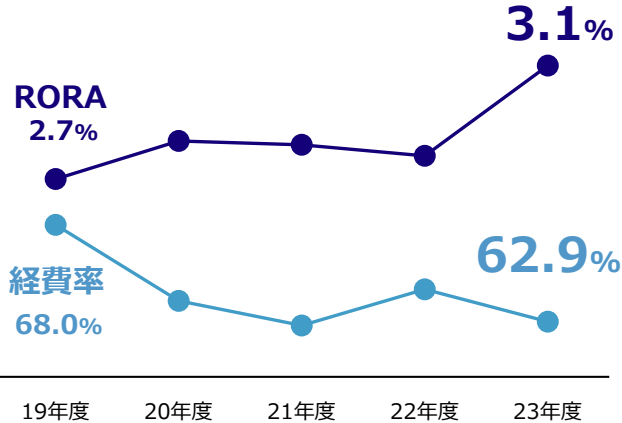


*1: その他有価証券評価差額金を除く *2: 自己資本当期純利益率。その他有価証券評価差額金を含む

PBR改善に向けた進捗状況②

資本効率の向上

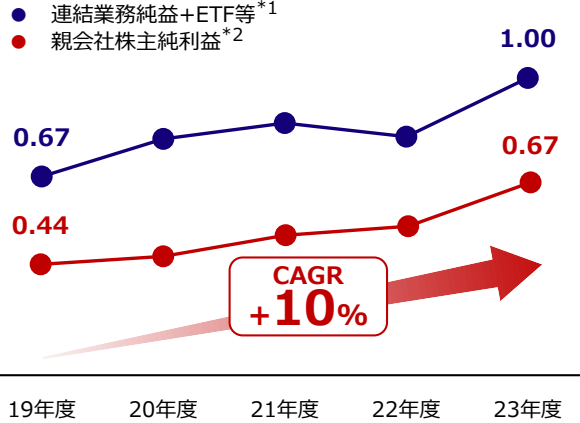
- アセット採算性向上・経費率コントロール



【25年度】RORA：3.0%、経費率：60%程度

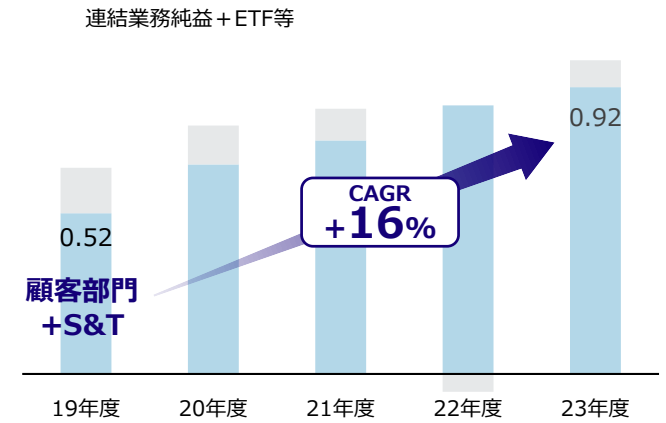
成長期待の醸成

- 着実な利益成長の実現



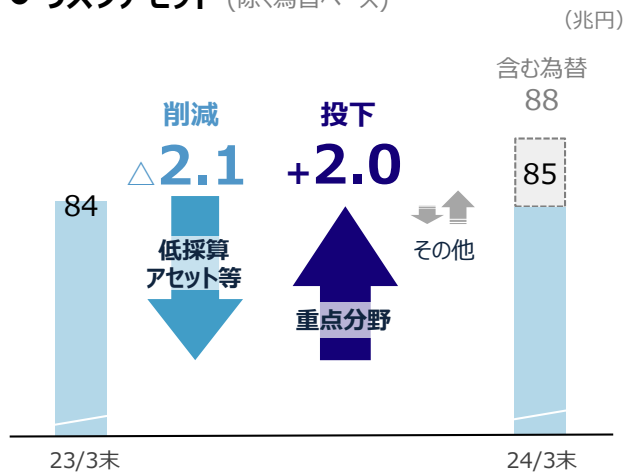
【25年度】*1：1-1.1兆円、*2：7,000億円台半ば

- 本業収益の安定化



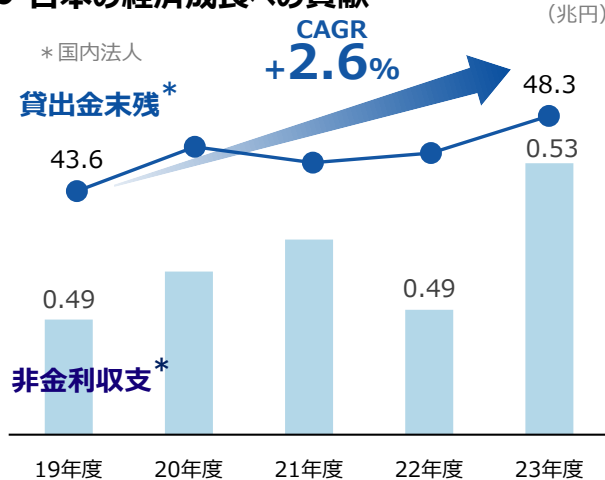
【23-25年度】重点分野+1,700億円

- リスクアセット (除く為替ベース)



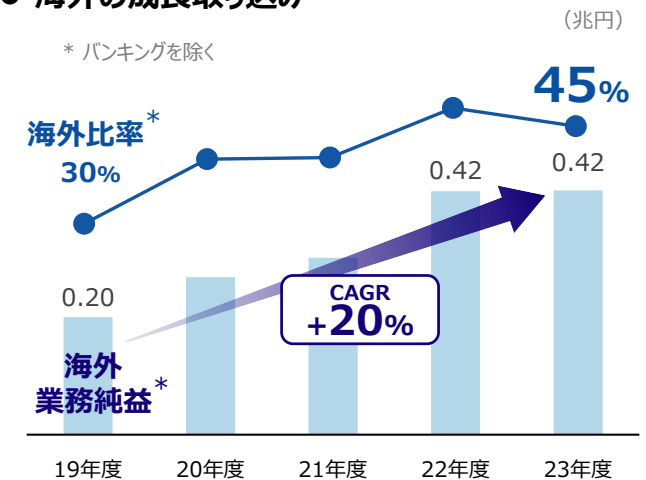
【23/3末-26/3末想定】削減△6-△7、投下+12-+13

- 日本の経済成長への貢献



【23/3末-26/3末】貸出金 (国内法人) CAGR2%前後

- 海外の成長取り込み



【23-25年度】グローバルCIBビジネス+600億円

(参考) 24年3月 日銀金融政策変更による想定影響 (概算)

24年度 業務計画への影響額

450 億円程度

(参考) 2016年、マイナス金利政策導入時の影響額 (当時試算)

△400 億円程度

24/3末の実績値
() 内は23/12末対比の変化幅

円貨B/S*1 (24/3末) (兆円)

貸出金収支	+350 億円
Tibor 3M	0.26 % (+0.18 %)
短期プライム	1.475 % (不変)

市場性運用	+400 億円
日銀当座預金	一律 0.10 % (+0.20%/+0.10%/不変)
日本国債 10年債利回り	0.72 % (+0.11 %)

貸出金	59	預金	124
市場連動 :	約60%	流動 :	約80%
固定 :	約20%	定期 :	約20%
プライム貸出等 :	約20%		
市場性運用	74		
日銀当座預金 :	56		
短期国債*2 :	10		
中長期国債 :	2		
〈平均残存期間〉 :	0.3年*3		
その他	4	その他	13

預金収支	△300 億円
基準金利	
普通預金	0.020 % (+0.019 %)
定期預金1年	0.025 % (+0.023 %)
定期預金10年	0.300 % (+0.298 %)*4

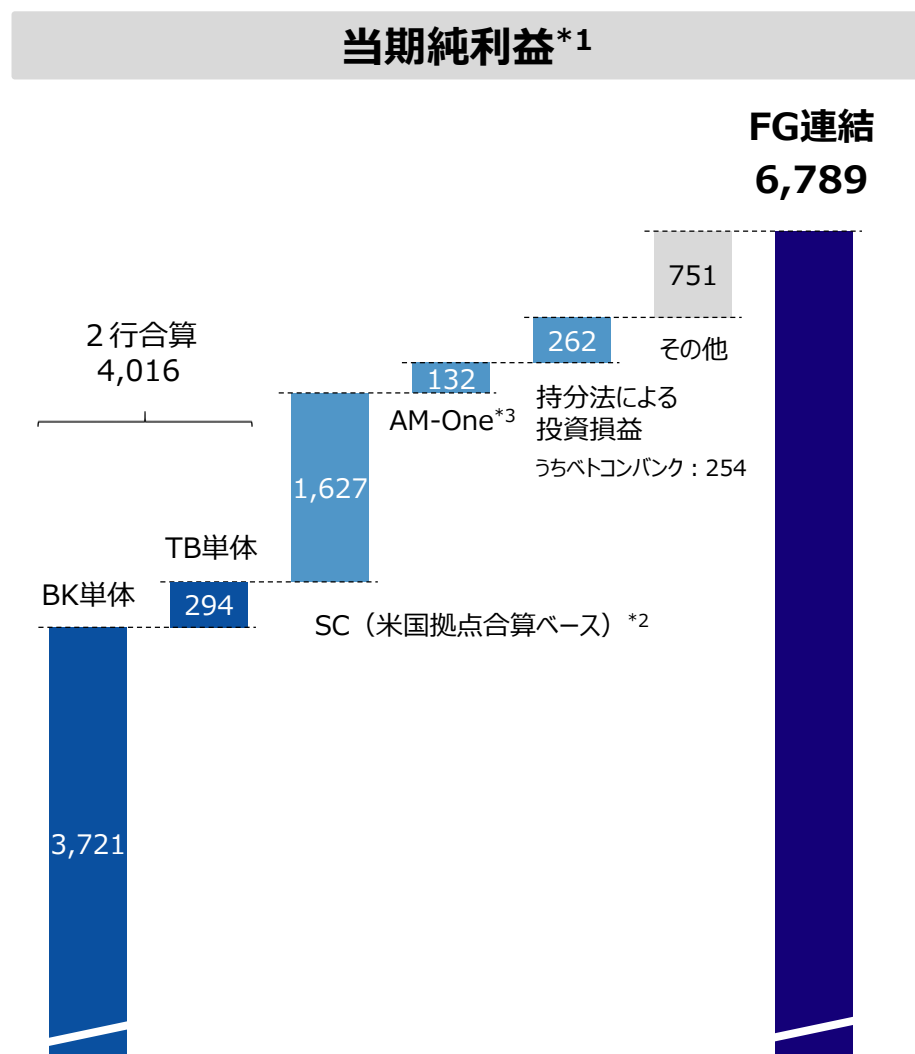
*1: BK、内部管理ベース *2: 含む政府保証債等 *3: 除く満期保有目的債券、ヘッジ考慮後 *4: 2023年11月13日以前の基準金利をもとに算出。2023年11月13日から2024年3月24日までは0.200%を適用

グループ会社別業績

(億円)

業務純益*1	FY22	FY23	前年度比
BK単体	5,434	6,240	+806
TB単体	306	267	△38
SC (米国拠点合算ベース) *2	1,145	1,822	+677
AM-One*3	210	206	△4
持分法による投資損益	118	262	+143
その他	854	1,258	+403
FG連結	8,071	10,058	+1,986

当期純利益*1	FY22	FY23	前年度比
BK単体	3,961	3,721	△239
TB単体	269	294	+24
SC (米国拠点合算ベース) *2	798	1,627	+829
AM-One*3	140	132	△8
持分法による投資損益	118	262	+143
その他	265	751	+485
FG連結	5,555	6,789	+1,234



*1: ETF関係損益等を含む。連結調整前の概数 *2: 業務純益はSC連結計数に、SC連結対象会社でないMSUSA等の米国拠点の計数を単純合算したものの。当期純利益は同米国拠点を含んだ社内管理ベースの計数。米国拠点の計数は業務純益1,315億円、当期純利益938億円 *3: 連結、のれん等償却を除く

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

組織の略称

FG :	みずほフィナンシャルグループ	RBC :	リテール・事業法人カンパニー
BK :	みずほ銀行	CIBC :	コーポレート&インベストメントバンキングカンパニー
TB :	みずほ信託銀行	GCIBC :	グローバルコーポレート&インベストメント バンキングカンパニー
SC :	みずほ証券	GMC :	グローバルマーケッツカンパニー
MSUSA :	米国みずほ証券	AMC :	アセットマネジメントカンパニー
AM-One :	アセットマネジメントOne		

為替レート

■ 管理会計

	FY23 計画レート
USD/JPY	120.00
EUR/JPY	132.00

■ 財務会計（期末TTM）

	23/3末	24/3末
USD/JPY	133.54	151.40
EUR/JPY	145.72	163.28

計数の定義

財務会計

連結業務純益 : 連結粗利益－経費（除く臨時処理分）＋持分法による投資損益等連結調整

ETF関係損益等 : ETF関係損益（2行合算）＋営業有価証券等損益（SC連結）

経費（除く臨時処理分等） : 経費（除く臨時処理分）－のれん等償却

経費率 : 経費（除く臨時処理分等）÷（連結粗利益＋ETF関係損益等）

親会社株主純利益 : 親会社株主に帰属する当期純利益

2行合算 : BK単体＋TB単体

普通株式等Tier1比率（その他有価証券評価差額金を除く） : ヘッジ取引による株式含み益の一部固定化効果を含む、内部管理ベース

[分子] その他有価証券評価差額金およびその見合いの繰延ヘッジ損益を控除

[分母] その他有価証券評価差額金（株式）見合いのリスク・アセットを控除

管理会計

顧客部門 : RBC、CIBC、GCIBC、AMCの合計

市場部門 : GMC

グループ合算 : BK、TB、SC、および主要子会社等の合算

カンパニー別業務純益 : 業務粗利益＋ETF関係損益－経費（除く臨時処理分等）＋持分法による投資損益－のれん等償却

内部リスク資本 : 規制上のリスク・アセット、バンキング勘定の金利リスク等に基づき算出されたリスク資本。RBC・CIBC・GCIBC は完全実施ベースを使用。速報値